

放課後等デイサービス自己評価 結果報告 (令和4年3月)

放課後等デイサービス野っこ

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標 工夫している点等
環境・体制整備	1	利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団活動・個別活動の人数により部屋を3か所に分けている。</li> <li>・ 2部屋を活動ごとに使い分け、人数調整もしている。</li> <li>・ 法的な既定のスペースはあるが、部屋数は2つあり活動によって分けている。</li> </ul>
	2	職員の配置や専門性は適切であるか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童指導員、保育士、強度行動障害支援者等の有資格者が各部屋に配置されている。</li> <li>・ 法的な基準を満たしている。送迎や子ども対応を出来るように配置している。</li> </ul>
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置、必要に応じたバリアフリー化の配慮など適切になされているか	60%	20%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、対象の子どもが居ないためスロープの設置等はされていないが、今後必要に応じてバリアフリー化は出来れば良いと思う。</li> <li>・ 段差がある部分に手すりは無いが、手を持って支えたりと転倒に繋がらないように気を付けている。</li> <li>・ 現在は対象となる子どもは居ないが検討する。</li> </ul>
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日々の振り返りを行う中で改善案を出し全体で行っていきPDCAを行う事で職員全体で参画出来るようにしている。</li> <li>・ 支援に関する事や業務効率の改善等PDCAを回し常に向上していけるように努めている。</li> <li>・ 全員出勤時の職員会議において行っている。</li> </ul>
	5	保護者向け評価表等アンケート調査を実施して保護者の意向を把握し、業務改善に繋げているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者アンケートの結果を受けて職員会議で話し合いが行われている。</li> </ul>
	6	この自己評価の結果を、お便りやホームページ等で公開しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公開している。</li> </ul>
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか		100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部評価は今までは出来ていないが、今後行っていく予定である。評価結果は職員間で共有し話し合い改善を行っている。</li> <li>・ 外部評価は行っていないが、検討している。</li> <li>・ 外部評価によるチェック等は今後入ってもらう事になる。</li> <li>・ 外部評価機関ではないが、法人内の他事業所の職員とトレード研修をする機会がある。コロナ禍が落ち着いたら再開し、意見交換をしていきたい。</li> <li>・ 外部評価を行ってもらうように話を進めている。</li> </ul>
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部研修以外にも法人内研修・保護者研修へも参加させて頂いている。</li> <li>・ 法人内研修・外部研修共に研修の機会を多く設けてもらっている。</li> <li>・ 法人内研修・外部研修共に職位や経験に合った研修の機会を広く与えられている。</li> <li>・ 法人内研修が定期的に行われている。</li> </ul>
	9	アセスメントを適切に行い、	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々の特性・強み・能力・ニーズから話し合い適切な</li> </ul>

適切な支援の提供		子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか			個別支援計画を作成していけるようにしている。 ・児発管が中心になり、ニーズや課題に合わせた個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	60%	20%	・口頭や振り返りでの記録を行っている。 ・行動記録シートを使いツールの標準化をしている。 ・必要な子に使用し、支援している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%		・職員で季節のイベント・個別活動・制作・戸外活動等話し合い活動プログラムの立案を行っている。 ・子ども達が楽しめるものにとしたら療育的要素も入れられるかチームで話し合う時間を多く設けている。 ・現在は1週間ごとに個人が計画を立てその週のリーダーとなり他の職員と情報共有を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		・現在では1週間ごとに各職員が活動プログラムを立てる事で同じプログラムの繰り返しにならないようチェックしている。 ・活動がマンネリ化しないように季節のイベントや新しい遊び等の開発を行うようにしている。 ・個々の支援目標に合った活動を用意しており、遊びの反復を行う事もある。 ・週ごとに活動内容を変え、子ども達が色々な経験を行えるように気を付けている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じ、課題を決め細やかな支援を行っているか	100%		・子ども達の利用時間に合わせて毎日活動プログラムを組んでいる。 ・平日に出来る事、休日では出来ない事をチームで話し合い適切な支援を心掛けている。
	14	子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて個別支援計画を作成しているか	100%		・1人1人に合わせた個別支援計画を立てるよう心掛けています。 ・子ども一人ひとりに合わせたプログラムをその都度考え提供出来るように努めている。 ・社会スキル・アンガーマネジメント・コグトレ等その子にとって必要な個別活動を話し合い個別支援計画に記載している。
	15	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		・毎日活動前に全体でミーティングを行いチェックをしている。 ・支援開始前のミーティングの場でその日のリーダーが指揮をとって打ち合わせを行っている。 ・朝にミーティングを行い疑問点等が無い職員で話し合い確認をしている。 ・活動時間が早い日も、個別での打ち合わせを行い支援に支障のないようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	100%		・振り返りはもちろん気付きをそのままにしないように職員会議等で話し合えるようなシステムもとっている。 ・支援終了後のミーティングでその日の特記事項等を共有している。 ・送迎後振り返りを行い、気になった点や改善点を話し合っている。
	17	日々の支援に関し正しく記録をとる事を徹底し、検証・改	100%		・職員全体で統一した記録の取り方を話し合い、検証・改善を行っていけるようにしている。

	善に繋がっているか				<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の支援目標にフォーカスした記録方法を用いて検証・改善に繋がるようにしている。</li> <li>・振り返りシートを用いて子ども達の様子を記録したり特記事項を職員会議で話し合い改善に繋がっている。</li> </ul>	
18	定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了後のミーティング、週1回の振り返り等個別に上がる事例から支援の方法等見直しを行えるようにしている。</li> <li>・相談支援員によるモニタリングも参考にしている。</li> </ul>	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが様々な経験が出来るよう複数の活動を組み合わせる支援を行っている。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	20	学校との情報共有（年間予定下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等）を適切に行っているか	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校によっては年間予定等を頂いている。送迎時の対応については年度ごとに話し合っている。</li> <li>・下校時刻表自体が無い学校もあり迎え時間にズレが生じる場合もあるが、その都度業務改善を行う。</li> <li>・下校時刻のミスがたまに生じることがあったので現在は朝のミーティングでチェックを行っている。</li> </ul>
	21	相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した者が参画しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者の澤田が参画させてもらっている。</li> <li>・管理者が参加させて頂いている。</li> </ul>
	22	就学前に利用していた保育園・児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ところ園を卒園した子等、情報共有を図っている。</li> <li>・相談員から事前に情報共有をし、相互理解に努めている。</li> </ul>
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	40%	60%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を卒業された方達が2名いらっしゃり、必要に応じて移行先へ支援内容の提供は行っている。</li> <li>・まだ自分自身が事業所で卒業生を見送っていないが、移行の時期が来たら情報提供を行う。</li> <li>・今後、うちの事業所からの卒業生が増えてきたら、関係機関へ情報提供を行う。</li> <li>・移行者が少なく自分自身まだ経験していないが、必要に応じて情報提供をする。</li> </ul>
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者が出席し、専門機関と連携している。</li> </ul>
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20%		80%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響もあり外部との接触は避けるようにしているが、公園での活動中にある交流の機会を大切にしている。</li> <li>・コロナもあって交流は難しいが、公園等利用した障がいのない子と分ける事なく順番を守ったり同じ遊具で一緒に遊ぶ機会を設けている。</li> <li>・コロナ禍以前からあまり交流は無かったので、交流出来る活動案を考えていきたい。</li> </ul>
	26	自立支援協議会へ積極的に参加しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者が出席させて頂いている。</li> </ul>
27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・気が付いた事は送迎時・面談時にお話させて頂くようにしている。</li> <li>・成長を感じたポイントや気付き等細かい事でも話してもらえるようなコミュニケーションや相談して頂いた際には具体的に話す等、お話出来る時間を大切にしている。</li> </ul>	

					<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰りの送迎時等にお伝えしている。</li> <li>・送迎時に活動内容や子どもの様子を伝えている。家庭での様子も聞くようにしている。</li> </ul>
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内で保護者向けの研修等を行っており、職員も参加させて頂いている。</li> <li>・保護者が希望された場合にも、支援を行っている。</li> </ul>
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時にお話させて頂いている。気になる点があればその都度お話させて頂いている。</li> <li>・契約時に管理者が行わせて頂いている。</li> </ul>
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・悩み等を伝えて頂いた際には職員間で話し合い療育の観点から出来る支援方法等をお話させて頂いている。</li> <li>・すぐに返答出来ない場合は事業所に持ち帰りペアトレに詳しい職員が対応したり、話して頂いた事にしっかり向き合うようにチームで心掛けたりしている。</li> <li>・答えられる範囲の事であれば自分で対応し、自分の判断で難しい事であれば事業所に持ち帰り管理者に相談し答えている。</li> </ul>
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に4回茶話会を実施している。</li> </ul>
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情があった場合、チーム全体で共有し、対応の体制の統一を図っている。</li> </ul>
	33	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、「野っこだより」を発行して必要な情報を掲載している。</li> <li>・月に1度お便りを発行している。</li> </ul>
	34	個人情報に十分注意しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や書類の管理等チーム全体で声掛けし合って気を付けるようにしている。</li> <li>・名前が載った物等の取扱いに十分注意している。</li> </ul>
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真カードを使い子どもとの意思疎通・保護者とは連絡帳や送迎時にその日の出来事等を情報共有している。</li> <li>・コミュニケーションツールは言葉だけではないという事を前提に視覚ツールの充実に取り組んでいる。</li> <li>・視覚カード等のツールを使っている。</li> <li>・視覚カードや連絡帳を使用している。また送迎時に情報を共有している。</li> </ul>
36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	40%	40%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍という事もあり、現在は開催出来ていないが地域交流カフェ等を行っていた。</li> <li>・コロナになる以前は法人主催の運動会が行われていた。</li> <li>・現在は出来ていないが、活動案を考えていきたい。</li> </ul>
37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は職員会議において各マニュアルの読み合わせをしている。コロナに関するマニュアルも各家庭に配布している。</li> </ul>

非常時の対応		護者に周知しているか				・保護者に必要に応じたマニュアルを周知している。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・3か月に1度避難訓練を実施・話し合いを行っている。</li> <li>・3か月に1回の割合で火災・地震・不審者に対する避難訓練を行っている。</li> <li>・3か月に1回訓練を行っている。避難袋の中身の内容も定期的に事業所で話し合い、見直していきたい。</li> </ul>
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回の職員会議内で振り返りを行い、虐待防止マニュアルの読み合わせも行っている。</li> <li>・定期的に全体でセルフチェックを行う等虐待防止・早期発見に努めている。</li> <li>・現在はオンライン研修での対応を行っている。</li> <li>・マニュアルの読み合わせを行い共有を図っている。</li> </ul>
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急性、非代替性、一時性である事を法人内で決定し必要な子どもや保護者に対して説明を行っている。</li> <li>・個別支援計画に記載し、保護者へ説明も行っている。</li> <li>・今後は個別に身体拘束時の対応を作成していく。</li> </ul>
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	80%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーのある子は把握し、職員全体で共有し、注意している。</li> <li>・病院にかかっていない子のアレルギー対応としては保護者からの情報に基づき対応中。</li> <li>・アレルギーがある子は把握させて頂いている。</li> <li>・アレルギーに配慮した食事提供を行っている。</li> </ul>
42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回の職員会議内でヒヤリハット事例を話し合い、共有している。</li> <li>・定期的に出せるようなシステムを作り、多く共有出来る事で事故防止に努めている。</li> <li>・職員会議で職員が順番に事例を出し共有してファイリングをしている。</li> <li>・週に1度職員会議でヒヤリハット事例を出し改善に努めている。記録はファイリングしている。</li> <li>・共有の機会は職員会議で設けられている。職員会議以降は必要に応じて見直せるようにファイリングしている。</li> </ul>	